

2023 年度 大宮地区自治協議会 定期総会



日時：令和5年5月27日（土）

14時 開会

場所：はぐくみセンター

9階 大講座室

2023年度

大宮地区自治協議会定期総会次第

1. 開会の辞
2. 会長あいさつ
3. 来賓ごあいさつ
4. 議長選出
5. 議 事

《報告事項》

- (1) 2022年度活動報告
- (2) 2022年度会計報告
- (3) 2022年度会計・事業監査報告

《審議事項》

- (4) 役員人事
- (5) 2023年度活動計画案
- (6) 2023年度予算案
- (7) 会則（協賛金に関する細則）改正

6. 閉会の辞

活動の振り返りと方針（つづやきから、その先へ）

1. 時間は命の断片、「歳月は、人を待たず」

「少年老いやすく 学成り難し 一寸の光陰 軽んずべからず」「盛年重ねて来らず 歳月は人を待たず」・・・こんな漢詩に触れるたびに、若い時に気づかなかった大切な時がいとおしくなる。3年に及ぶコロナ禍は、私たちに何をもたらしたのか。失われた時なのか、いや、振り返りと新しい道を切り開くための充電と思考の期間だったのか。

2. 停滞した第2次「大宮自治活動計画（aiプラン）」

- ❖ 昨年5月、3年ぶりに対面総会を開催し、向こう2年間の第2次「大宮自治活動計画」を策定し、課題解決の分野別部会ごとに活動計画を組み直して取り組むことにした。
 - ・しかしながら、新型コロナウイルス感染の波が押し寄せ、人との接触がままならないという状況のなか、当初計画していた活動の多くは抑制せざるを得なかった。
- ❖ こんな中であって、支え合いを絶やさず一人ひとりをつなぐ仕組みを創っていく必要があると認識し、デジタル時代に相応しい先駆的な『おおみや安心システム』を構築。600名を越える方々に定期配信できるようになり、財政面の見通しも立てることが出来た。
 - ・また、広報紙「きずな(絆)」によるニュース提供。市との協働の「しみんだより等」配布事業は、自治会未加入者を含む全域に配達し情報を伝達。事業として軌道に乗った。
- ❖ 昨年7月、営々と築き上げてきた自由で平穏な暮らしを揺るがす、大事件が起きた。しかし、私たちは立ち止まらずに「私たちにできることをやろう！」と“あいさつ運動”を呼びかけ、疎遠になった人と人との関係を取り戻す努力を続けた。
 - ・そしてコロナ禍のなか、防災防犯の活動、子どもたちの見守り、高齢者の居場所づくりなどに、感染防止を心がけながら地道な活動を積み重ねた。

3. アクセルを踏み、活動を軌道に乗せる

- ◇ 第2次計画から第3次へ・・・アクセルを踏んで第2次活動を実りあるものとし、年度後半からは状況判断のうえ、次なるステップへ第3次計画の策定に着手する。
- ◇ 各部会連携と事務局充実・・・各部会を構成する関係団体の強みを生かしつつ直接と間接部間の連携を図る。また、市の「一括交付金」制度の趣旨に則り、自治協議会・自治連合会・防災防犯協議会が持つ、事務機能の一体的運営を実践する。
- ◇ 『おおみや安心システム』・・・財源の目途は立ったが、推進過程でスマホの情報機能を使えない人が数多く判明し、講習会などの啓蒙活動が欠かせなくなった。
- ◇ プラス思考で前へと進む・・・居住環境整備、防災防犯への取組、子どもたちへの育ち支援や見守り、高齢者向けの福祉などに一歩踏み込んで活動を続ける。

4. 「大宮まつり」で、笑顔を取り戻そう

4年ぶりの「大宮まつり」を、暑さしのげる「なら100年会館」で開催。閉塞感から抜け出し、大宮地区の一体感を盛り上げるとともに、新しい“まつり”を創造する。

- ❖ 理事・代議員を始めとする構成員が、まとまり手を携えて主体的に考動していこう。

一体的運営への取り組みについて-1

■地域自治協議会（以下「協議会」と称す。）に関する奈良市との協議過程で・・・

- ①協議会の運営と活動への継続的な支援
- ②組織の縦割りに横軸を通した、協議会への一括交付金
- ③総合的な使いやすい交付金

・・・などを要請した結果、柔軟な運用により、まちづくりのより効果的かつ効率的な推進を図るため「奈良市地域づくり一括交付金交付要領」が施行された。
また、汗をかいた地区に光を当てるとの観点から、「しみんだより等」配布事業受託の地区に対して報償費を上積みすることが決まった。

■奈良市地域づくり一括交付金の交付対象事業は・・・

- ①協議会の運営及び自主的、自立的なまちづくりの関する事業（対；協議会）
 - ②地域活動推進に関する事業（対；自治連合会）
 - a. 区域内の住民の対話促進及び地域コミュニティの推進に関する事業
 - b. 区域内の住民の要望事項等の集約に関する事業
 - c. 区域内の住民がともに支え合う地域福祉の充実に関する事業
 - ③自主防災・防犯活動に関する事業（対；防災防犯協協議会）
- ・・・であり、柔軟な運用で、より効果的かつ効率的な執行が期待されている。

■協議会・自治連・防災防犯協の一体運営への取り組み

1. ワーキング・グループの設置

- 統括(吉岡)・事務局(奥田)・企画財務部(潮崎)・自治環境部(長本)・安全部(坂井)
- フリートーキング（6/23）；あるべき姿と課題などについて討議

2. 協議会組織での連携協働の検討

- 企画財務部（協議会）
 - 自治環境部（自治連合会）
 - 安全部（防災防犯協議会）
- } 効果的かつ効率的な活動について検討
(組織のあり方、活動計画の精査推進方法、
予算の組み立てと執行など)

3. 予算・執行・決算の一体化と会計事務処理の方針決定

- 会計事務処理、帳簿管理、入出金などの作業と口座管理

4. スケジュール

検討項目	2022.6	2022.9	2022.12	2023.4～
グループ設置	→		2023 計画策定	
活動計画の精査・予算の点検		→	方針案決定	2023～一体化
会計事務のあり方・担当者決定・次年度想定			→	理事会/総会

5. 一体運営のやり方；◎組織

- ◎ 自治協議会の会計実務

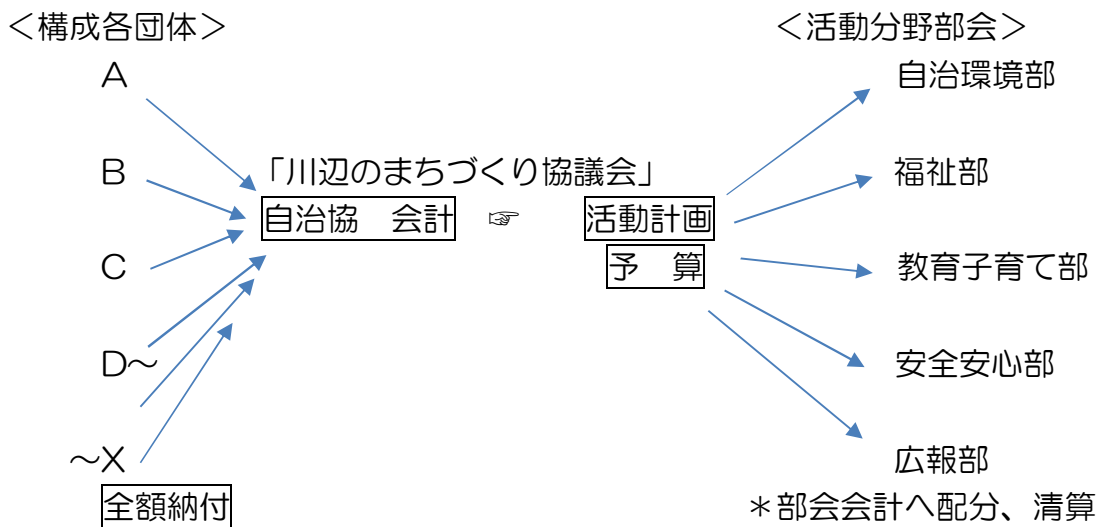
◎活動 ◎会計処理

- 自治環境部（自治連合会）の会計実務
- 安全部（防災防犯協議会）の会計実務

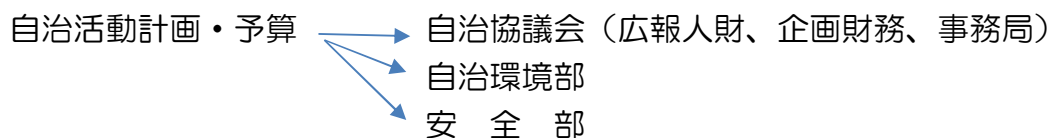
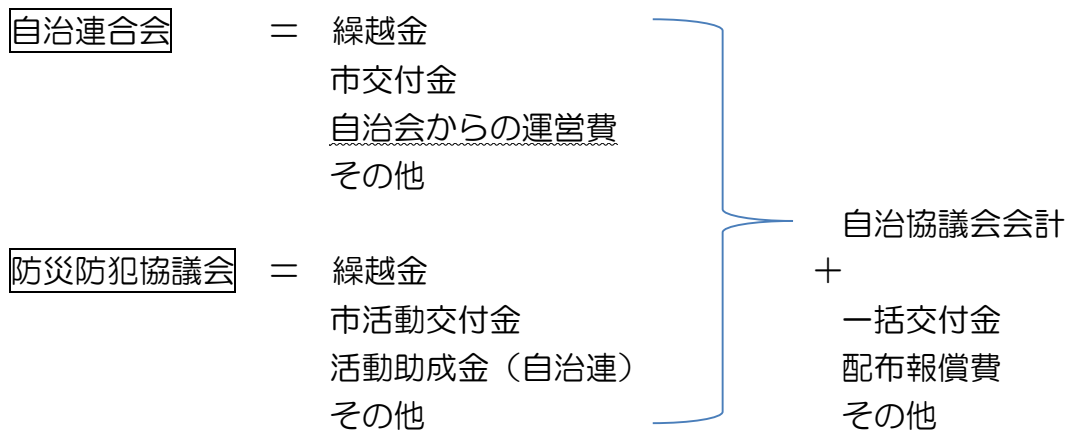
以上

一体的運営への取り組みについて-2

【大安寺西地区の方式イメージ】（7/9 調査）



【大宮地区の方式試案イメージ（初段階）】



【検討事項など】

①組織の呼称・・・自治協議会、自治環境部、安全部

*自治環境部・安全部の部長は、対外的には自治連合会長・防災防犯協議会長

②事務の一体化・・・会議資料の作成・印刷・仕分け、会場の確保、会議招集、会場準備・片付け、議事録作成、資料類保存（データ管理）

*自治協議会の事務局を充実し、対応していく。各種会議の同時期開催も視野に！

③会計の一体化・・・活動計画⇒ 予算引き当て⇒ 配分⇒ 活動・予算執行・決算

*当面、通帳は自治協議会・自治環境部・安全部別に管理

以上

【大宮地区自治協議会の設立と経過】

＜設立趣旨＞地域コミュニティへの帰属意識の希薄化と担い手不足の深刻化に対処するとともに、地域の将来像を描き「自分たちのまちは自分たちで選び、勝ち取っていく」との考えのもと、元気な今のうちに全員参加型の新しい仕組みを構築する。

＜自治活動計画＞地域のビジョンを設定し、それを達成するための地域課題を抽出して地域住民が自らの手で地域課題を解決するための計画を立案し、纏めたものを「自治活動計画」として位置づけ、役割分担しながら地域の総力を結集して実行していくこととする。

＜主要経過＞

- 平成27年10月 設立への準備会として「大宮自治組織づくり委員会」を結成発足
- 平成28年 1月 奈良市の自治組織づくり「モデル地区」として指定
- 平成28年 9月 地域ビジョンづくりのため「住民アンケート」実施
- 平成30年 1月 ビジョン、自治活動計画、組織、会則、陣容、予算等の策定
- 平成30年 5月 「大宮地区自治協議会」設立総会、活動計画始動
- 平成30年 6月 大宮地区自治協議会のホームページ開設
- 平成31年 2月 臨時総会、第1次「大宮自治活動計画」確定
- 令和元年 5月 定期総会、第1次「大宮自治活動計画」の委員会別計画スタート
- 令和元年 6月 「奈良市地域自治協議会の設置及び認定に関する要綱」にもとづき「大宮地区自治協議会」が設置認定
- 令和元年 12月 奈良市市民参画及び協働によるまちづくり条例に「地域自治協議会」が格上げ規定され、経過措置として「大宮地区自治協議会」が認定
- 令和2年 5月 定期総会（新型コロナウイルス拡大防止のため書面による議決方式採用）
- 令和2年 11月 臨時総会（「おおみや安心システム」の構築、活動計画見直し等）
- 令和3年 3月 臨時総会（「委員会」制から「部会」制への変更、書面議決方式）
- 令和3年 5月 定期総会（新型コロナウイルス拡大防止のため書面による議決方式採用）
- 令和4年 2月 臨時総会 第2次大宮自治活動計画の策定（書面議決方式）
- 令和4年 5月 定期総会 役員改選、2022年度活動方針・計画、予算等審議可決

＜地域自治協議会の定義（奈良市市民参画及び協働によるまちづくり条例第2条第8号）＞

○共同体意識の形成が可能な一定の地域（おおむね市立小学校の通学区域をいう。）において、当該地域の住民、市民公益活動団体、事業者、学校その他のものが一体となって民主的に運営し地域づくりを行う組織で、市長の認定を受けて設置するものをいう。

＜地域自治協議会の役割（同条例8条の2）抜粋＞

- 地域自治協議会は、地域の課題解決を図るとともに、住みよいまちづくりの推進に努めるものとする。
- 地域自治協議会は、民主的で透明性の確保された運営を行い、市民に開かれた取組を行わなければならない。

【大宮地区自治協議会のあらまし】

どんな「まち」をめざすのか ⇒ 安全で安心して暮らせる「まち」

住みやすい住み続けたい大宮

おおみやの<理念> 『ふれあい ささえあい ありがとうのまち』

住民アンケートから集約した、おおみやの<ビジョン>

三つのビジョン

みんなで創る
安全安心なまち

子育てと
教育のまち

住み続けたい
健康で明るいまち

ビジョンを実現するための目標と地域課題の整理

地域課題と解決への活動計画を分野別に策定

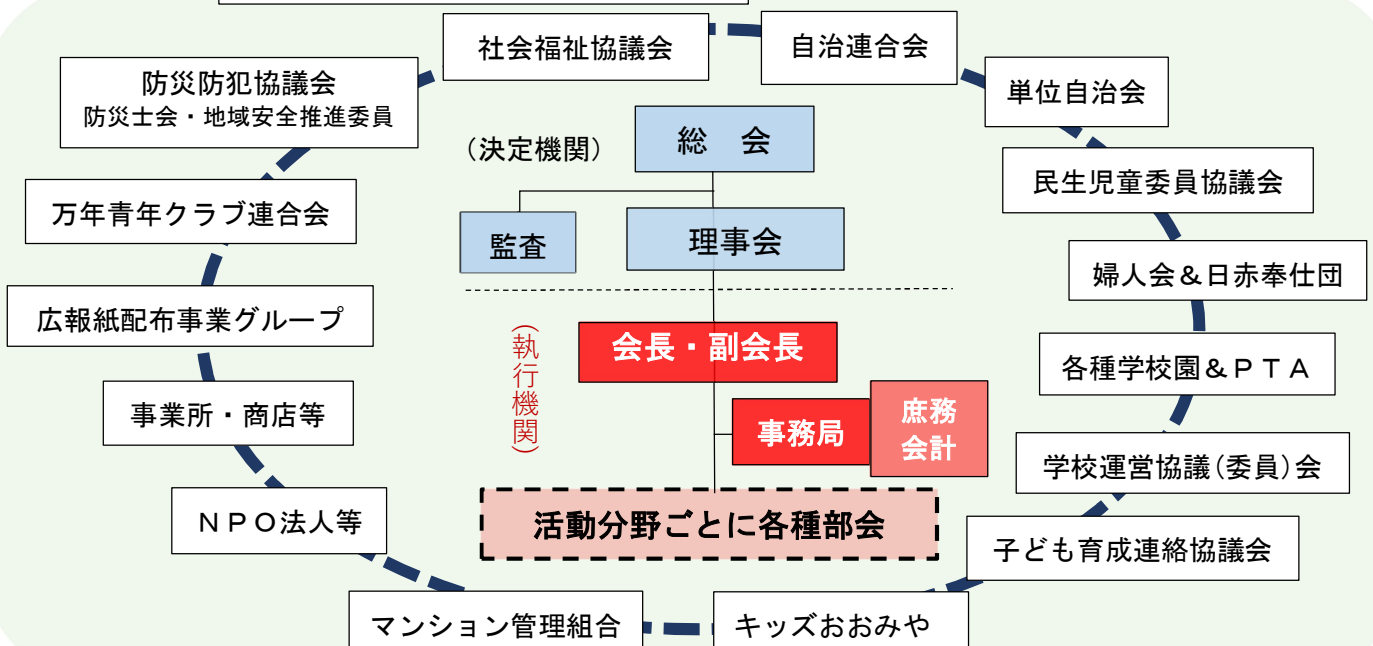
2022～2023

大宮自治活動計画 “おおみや ai プラン”

活動分野別の部会を編成（担当理事が部長）して取り組み

自治環境部会	自治, 居住環境の維持・改善	安全部会	災害から身を守る地域づくり
福祉部会	高齢者への地域福祉の増進	育ち支援部会	子育て応援と子ども安全, 学校連携
情報人財部会	情報発受信, 担い手づくり	企画財務部会	企画立案と安定した財源の確保
おおみや安心システム推進会議 “孤立ゼロ”へ, 支え合いの思いをカタチに (部会名) (活動の方向)		人権教育推進委員会 共生社会に呼応した権利擁護の推進, 意識浸透 (部会名) (活動の方向)	

大宮地区自治協議会の組織図



2022年度活動報告 I

年 月 日	活 動 内 容
2022年 4月 1日 金	安心システム定期配信
4月 4日 月	広報紙「きずな(絆)」編集会議
4月 6日 水	おおみや安心システムプロジェクト会議
4月 12日 火	自治協議会会計監査
4月 17日 日	おおみや安心システム登録会
4月 21日 木	市・県民だより等配布事業
4月 21日 木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会
4月 22日 金	自治協議会事務局会議
4月 26日 火	自治協議会正副会長会議
4月 28日 木	自治協議会理事会
4月 29日 金	市・県民だより等配布事業打ち合わせ会議
5月 1日 日	安心システム定期配信
5月 19日 木	自治協議会事務局会議
5月 23日 月	自治協議会正副会長会議
5月 24日 火	市・県民だより等配布事業
5月 25日 水	タウンマネジメント協議会
5月 26日 木	自治協議会理事会
5月 28日 土	自治協議会総会
5月 31日 火	自治協議会HP立ち上げ
6月 1日 水	安心システム定期配信
6月 9日 木	自治協議会臨時事務局会議
6月 16日 木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会
6月 22日 水	自治協議会事務局会議
6月 23日 木	市・県民だより等配布事業
6月 23日 木	広報紙「きずな(絆)」44号発行
6月 26日 日	おおみや安心システム登録会(東部・南部ブロック)
6月 27日 月	広報紙「きずな(絆)」編集会議
6月 28日 火	自治協議会正副会長会議
6月 30日 木	自治協議会理事会
7月 1日 金	安心システム定期配信
7月 15日 金	自治協議会臨時理事会
7月 20日 水	自治協議会事務局会議
7月 22日 金	市・県民だより等配布事業
7月 22日 金	広報紙「きずな(絆)」特別号発行(裏面あいさつチラシ)
7月 26日 火	自治協議会正副会長会議
7月 28日 木	自治協議会理事会
7月 30日 土	市・県民だより等配布事業打ち合わせ会議
8月 1日 月	安心システム定期配信
8月 4日 木	安心システム推進会議(セコム担当者同席)

2022年度活動報告 II		
年 月 日	活 動 内 容	
8月17日 水	ラジオ体操(17日～24日)	
8月18日 木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会	
8月19日 金	自治協議会事務局会議	
8月23日 火	自治協議会正副会長会議	
8月24日 水	市・県民だより等配布事業	
8月25日 木	自治協議会理事会	
8月26日 金	タウンマネジメント協議会	
8月30日 火	第1回避難行動要支援者見守りハガキ郵送	
9月1日 木	安心システム定期配信	
9月16日 金	安心システム推進会議(セコム担当者同席)	
9月22日 木	市・県民だより等配布事業	
9月22日 木	広報紙「きずな(絆)」45号発行	
9月24日 土	自治協議会事務局会議	
9月25日 日	防災訓練(防災と家族会議)	
9月26日 月	広報紙「きずな(絆)」編集会議	
9月27日 火	自治協議会正副会長会議	
9月29日 木	自治協議会理事会	
10月1日 土	安心システム定期配信	
10月4日 火	セコムとの新規契約内容の打ち合わせ	
10月7日 金	安心システム新規契約	
10月12日 水	安心システム推進会議(セコム担当者同席)	
10月20日 木	自治協議会事務局会議	
10月20日 木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会	
10月24日 月	市・県民だより等配布事業	
10月25日 火	自治協議会正副会長会議	
10月27日 木	自治協議会理事会	
10月29日 土	市・県民だより等配布事業打ち合わせ会議	
10月30日 日	奈良市総合防災訓練(大宮地区・避難訓練)	
11月1日 火	安心システム定期配信	
11月5日 土	福祉部会「ポッチャで楽しもう」開催	
11月8日 火	新春の集い打ち合わせ会議	
11月12日 土	認知症サポーター養成講座	
11月18日 金	自治協議会事務局会議	
11月19日 土	大宮まつり準備委員会	
11月22日 火	市・県民だより等配布事業	
11月22日 火	自治協議会正副会長会議	
11月24日 木	自治協議会理事会	
11月25日 金	タウンマネジメント協議会	
12月1日 木	安心システム定期配信	

2022年度活動報告 III

年 月 日	活 動 内 容
12月 2日 金	新春の集い打ち合わせ会議
12月 3日 土	大宮まつり実行委員会
12月 15日 木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会
12月 16日 金	自治協議会事務局会議
12月 20日 火	自治協議会正副会長会議
12月 21日 水	市・県民だより等配布事業
12月 22日 木	自治協議会理事会
12月 23日 金	おおみや安心システム全加入者に企業コード等の郵送
2023年 1月 1日 日	安心システム定期配信
1月 7日 土	大宮地区新春の集い
1月 14日 土	大宮まつり実行委員会
1月 17日 火	自治協議会事務局会議
1月 24日 火	市・県民だより等配布事業
1月 24日 火	自治協議会正副会長会議
1月 26日 木	自治協議会理事会
2月 1日 水	安心システム定期配信
2月 10日 金	大宮まつり実行委員会
2月 14日 火	第2回避難行動要支援者見守りハガキ郵送
2月 15日 水	自治協議会事務局会議
2月 16日 木	自治協議会ヒアリング(自治環境・情報人材・企画財務・安心システム)
2月 16日 木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会
2月 17日 金	自治協議会ヒアリング(育ち支援・福祉・安全・人権教育)
2月 20日 月	市・県民だより等配布事業
2月 20日 月	広報紙「きずな(絆)」46号発行
2月 21日 火	自治協議会正副会長会議
2月 22日 水	タウンマネジメント協議会
2月 22日 水	自治協議会理事会
2月 26日 日	防災訓練(法令順守の正しい自転車の乗り方)
2月 28日 火	広報紙「きずな(絆)」編集会議
3月 1日 水	安心システム定期配信
3月 4日 土	おおみや安心システム相談会
3月 11日 土	大宮まつり実行委員会
3月 16日 木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会
3月 23日 木	自治協議会事務局会議
3月 24日 金	市・県民だより等配布事業
3月 26日 日	救命救急研修会
3月 28日 火	防災訓練
3月 28日 火	自治協議会正副会長会議
3月 30日 木	自治協議会理事会

2022年度収支決算報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

単位：円

収入総額	4,669,550
支出総額	4,167,224
差引残高	502,326

次年度繰越

注記

大宮地区助け合い活動資金収支
 募金額 12月末 383,500
 支出 1～3月 147,500
 差引期末残 236,000 '23年4月以降安心システムに使用
 したがって自治協議会としての通常の繰越金は、
 $502,326 - 236,000 = 266,326$ となる。

<収入の部>

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越金	34,871	34,871	0	
協賛金	336,000	333,750	-2,250	参加団体からの協賛金
助成金	550,000	650,000	100,000	奈良市一括交付金立ち上がり支援 防災防犯協より戻し入れ 50000×2
	40,000	0	-40,000	社協より・ふれあい給食200食相当分
事業助成金 助け合い	270,000	383,500	113,500	地区助け合い活動資金募金
事業収益金	0	0	0	大宮まつり収益分配金予定
広報紙配布事業	2,665,000	2,823,624	158,624	
広告収入	40,000	10,000	-30,000	きずな(絆) 広告
雑収入	100,000	33,800	-66,200	ボランティア保険料返金、 ふれあい農園管理費、 きずな印刷防災協負担
借入金	200,000	200,000	0	運転資金を借入
寄付金	0	200,000	200,000	
預り金・利息	5	5	0	ふれあい農園預り金
収入合計	4,235,876	4,669,550	433,674	

<支出の部>

単位：円

項 目	予算額	決算額	増減	摘 要
1. 自治環境部会	0	0	0	
2. 安全部会	0	0	0	
3. 福祉部会	80,000	19,719	-60,281	
4. 育ち支援部会	220,000	127,000	-93,000	
5. 情報人財部会	220,000	198,675	-21,325	
6. 企画財務部	2,100,000	2,124,591	24,591	
7. おおみや安全システム 推進会議	350,000	429,369	79,369	システム料金、説明会等経費他
8. 人権教育推進協議会	0	0	0	
民生委員等推薦委員会	0	0	0	
防災井戸掘削積立金		50,000	50,000	自主防災防犯（安全部会）一括交付金では、制度上積み立てできないため。なお、専用の別銀行口座で積み立て。
大宮まつり実行委員会	0	0	0	
運営・事務局費	1,243,000	1,217,870	-25,130	
内訳 事務所費	0	0	0	事務所借用光熱費 減免
事務費	200,000	202,395	2,395	スマホ、WiFi、光回線
	120,000	125,234	5,234	事務消耗品費 用紙、プリンターインク、事務用品他
会議費	0	7,001	7,001	
負担金	2,000	2,000	0	三笠公民館グループ協議会
会議資料作成他	0	0	0	事務用消耗品費に含む
講師謝礼	0	10,000	10,000	防災訓練謝礼
交際・慶弔費	5,000	0	-5,000	関係機関との連携費用
軽四維持費	116,000	144,440	28,440	任意保険料、燃料費、定期点検・修理
新春の集い開催事業補填	0	0	0	
借入金等返済	200,000	200,000	0	借入金返済、預り金払い戻し
事務局員経費	600,000	526,800	-73,200	
1～12+運営・事務局費 計	4,213,000	4,167,224	-45,776	
予備費	22,876	0	-22,876	組織拡大策推進他予備費
支出合計	4,235,876	4,167,224	-68,652	

備品明細

2023年3月31日現在

品名	数量	保管場所等	備考
ロッカー	1(上下組)	事務所 (三笠公民館内)	2018年購入
ノート型パソコン	1	事務所 (三笠公民館内)	2018年購入
インクジェットプリンター	1	事務所 (三笠公民館内)	2020年購入 SOMPO助成
ノート型パソコン	1	事務所 (三笠公民館内)	2020年購入 SOMPO助成
折り畳み机	4	事務所 (三笠公民館内)	2020年購入 SOMPO助成
折り畳み机 (幅広)	1	事務所 (三笠公民館内)	2020年購入 SOMPO助成
折り畳み椅子	12	事務所 (三笠公民館内)	2020年購入 SOMPO助成
書類ロッカー	2	事務所 (三笠公民館内)	2020年購入 SOMPO助成
スチール棚	1	事務所 (三笠公民館内)	2020年購入 SOMPO助成
レターボックス大	1	事務所 (三笠公民館内)	2020年購入 SOMPO助成
レターボックス小	1	事務所 (三笠公民館内)	2020年購入 SOMPO助成
書類ロッカー小 (上置き)	1	事務所 (三笠公民館内)	2021年購入
<以下余白>			

監査報告書 (写)

1. 2023年4月11日提出のあった、2022年度大宮地区自治協議会の事業にかかわる会計について、2023年4月11日監査を行った結果、諸帳簿、各種諸票書類とも正確に処理されており、収入支出ともに適正であったことを認めましたので、ここに報告いたします。
2. 2023年4月11日に提出のあった、2022年度大宮地区自治協議会の事業にかかわる事業報告について調査し、また年度内に行われた会議、行事に参加ならびに外部より客観的に監査した結果、積極的かつ効果的に事業が行われていることを認めましたので、ここに報告いたします。

2023年4月11日

監査 (署名) 辻本 武

監査 (署名) 山口 昌之

(4) 役員改選

役員(案)

会則第8条に定める役員

役職	氏名	所属団体等
会長	吉岡 正志	大宮地区自治連合会
副会長	長本 晶夫	大宮地区自治連合会
	艸香 和子	大宮地区民生児童委員協議会
	矢本 亜矢	NPO法人大宮地区社会福祉協議会
	坂井 晴喜	安全部会
	植原 敏子	大宮婦人会
会計	中室 好治	安全部会
	福村 典子	大宮婦人会
監査	辻本 武	大宮地区自治連合会
	山口 昌之	大宮地区民生児童委員協議会

会則第38条第2項に定める事務局

役職	氏名	担当
事務局長	奥田 勝己	事務局総括
事務局次長	潮崎 善英	財務・企画・組織拡大
		会議運営・事務所管理
事務局員	中室 好治	会計兼務・情報人財
	坂田 尚美	書記・文書管理
	岡田 和大	情報人財・育ち支援
	岡田 浩徳	育ち支援・企画
	森野 ゆかり	広報
	東田 佳子	事務・安心システム

2023年度「大宮地区自治協議会」事業計画Ⅰ(案)

年	月	日	事業名	備考	
2023	4	1	土	安心システム定期配信	
	4	1	土	親水公園クリーンキャンペーン	
	4	8	土	大宮まつり実行委員会	
	4	11	火	自治協議会会計監査	
	4	20	木	自治協議会事務局会議	
	4	20	木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会	
	4	21	金	市・県民だより等配布事業	
	4	23	日	大宮まつり実行委員会	
	4	25	火	自治協議会正副会長会議	
	4	27	木	自治協議会理事会	
	5	1	月	安心システム定期配信	
	5	7	日	大宮まつり実行委員会	
	5	11	木	自治協議会臨時事務局会議	
	5	18	木	自治協議会事務局会議	
	5	20	土	大宮まつり実行委員会	
	5	23	火	自治協議会正副会長会議	
	5	24	水	市・県民だより等配布事業	
	5	25	木	タウンマネジメント協議会	
	5	25	木	自治協議会理事会	
	5	27	土	2023年度自治協議会定期総会	
	6	1	木	安心システム定期配信	
	6	3	土	大宮まつり実行委員会	
	6	15	木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会	
	6	17	土	大宮まつり実行委員会	
	6	22	木	自治協議会事務局会議	
	6	23	金	市・県民だより等配布事業	
	6	23	金	広報紙「きずな(絆)」47号発行	
	6	26	月	広報紙「きずな(絆)」編集会議	
	6	27	火	自治協議会正副会長会議	
	6	29	木	自治協議会理事会	
	7	1	土	安心システム定期配信	
	7	8	土	大宮まつり実行委員会	
	7	20	木	自治協議会事務局会議	
	7	22	土	大宮まつり実行委員会	
	7	24	月	市・県民だより等配布事業	
	7	25	火	自治協議会正副会長会議	
	7	27	木	自治協議会理事会	

2023年度「大宮地区自治協議会」事業計画Ⅱ(案)

年	月	日	事業名	備考	
2023	8	5	土	大宮まつり実行委員会	
	8	11	金	大宮まつり	
	8	17	木	夏のラジオ体操	17日(木)～24日(木)
	8	17	木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会	
	8	23	水	自治協議会事務局会議	
	8	24	木	市・県民だより等配布事業	
	8	25	金	タウンマネジメント協議会	
	8	29	火	自治協議会正副会長会議	
	8	31	木	自治協議会理事会	
	9	1	金	安心システム定期配信	
	9	4	月	コンベンションセンター防災訓練参加	
	9	9	土	大宮まつり総括	
	9	21	木	自治協議会事務局会議	
	9	22	金	市・県民だより等配布事業	
	9	26	火	自治協議会正副会長会議	
	9	28	木	自治協議会理事会	
	10	1	日	安心システム定期配信	
	10	2	月	「大宮地区助け合い活動資金」開始	
	10	19	木	自治協議会事務局会議	
	10	19	木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会	
	10	24	火	市・県民だより等配布事業	
	10	24	火	広報紙「きずな(絆)」48号発行	
	10	30	月	広報紙「きずな(絆)」編集会議	
	10	25	水	自治協議会正副会長会議	
	10	26	木	自治協議会理事会	
	10	29	日	奈良市一斉防災訓練	
	11	1	水	安心システム定期配信	
	11	21	火	自治協議会事務局会議	
	11	22	水	市・県民だより等配布事業	
	11	24	金	タウンマネジメント協議会	
	11	28	火	自治協議会正副会長会議	
	11	30	木	自治協議会理事会	
	12	1	金	安心システム定期配信	
	12	14	木	自治協議会事務局会議	
	12	19	火	自治協議会正副会長会議	
	12	21	木	市・県民だより等配布事業	
	12	21	木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会	
	12	22	金	自治協議会理事会	

2023年度「大宮地区自治協議会」事業計画Ⅲ(案)

年	月	日	事業名	備考	
2024	1	1	月	安心システム定期配信	
	1	6	土	大宮地区「新春の集い」	
	1	18	木	自治協議会事務局会議	
	1	23	火	自治協議会正副会長会議	
	1	24	水	市・県民だより等配布事業	
	1	25	木	自治協議会理事会	
	2	1	木	安心システム定期配信	
	2	15	木	JR奈良駅西まちづくり運営協議会	
	2	21	水	市・県民だより等配布事業	
	2	22	木	自治協議会事務局会議	
	2	22	木	広報紙「きずな（絆）」49号発行	
	2	22	木	タウンマネジメント協議会	
	2	27	火	自治協議会正副会長会議	
	2	29	木	自治協議会理事会	
	3	1	金	安心システム定期配信	
	3	20	水	自治協議会事務局会議	
	3	22	金	市・県民だより等配布事業	
	3	22	金	JR奈良駅西まちづくり運営協議会	
	3	26	火	広報紙「きずな（絆）」編集会議	
	3	26	火	自治協議会正副会長会議	
	3	28	木	自治協議会理事会	
	3	30	土	佐保川クリーンキャンペーン	

1		自治環境部会 ～地域活性化と居住環境の維持・改善向上～			【部長；長本】	
目標期間		活動計画への展開	計画番号	2023年度の活動計画（取り組み）		予算（千円）
短期	長期			上期（4～9月）	下期（10～3月）	自治協 全体
(1) 西九条佐保線計画、大宮通り新ホテル・交流拠点事業、その他開発行為への対処 (5⑦⑩)						
	<input type="checkbox"/>	西九条佐保線の住環境維持の観点からの的確対応、地権者不安解消	①	要望事項の協議は難航、用地買収は徐々に進展	要望事項に対する進捗協議の続行、用地買収に伴う地権者不安解消策の継続実施、買収地の適正保全要求	20
	<input type="checkbox"/>	生活道路としての機能維持など地域コミュニティの人流確保	②	横断歩道確保・信号機設置等を要請中、膠着状態	奈良県土地開発公社に対し、道路横断確保、信号機設置等の文書確約の無い限り協議に応じない姿勢を堅持	
	<input type="checkbox"/>	大宮通り新ホテル・交流拠点事業への対処、事業者連携	③	ホテル・NHKの自治協議会加入、避難場所運営進展	「効用マネジメント協議会」活用等によるにぎわい創出と観光公害の未然防止 避難場所の運営訓練などの実施	
	<input type="checkbox"/>	マンション・ホテル・商業施設等の地区内開発行為への適確な対応	④	空地の高度化利用等の増加、対応態勢への遅れあり	開発段階での影響緩和協議、良好な近隣関係へ完成後の自治会結成や加入促進、市ヘワストップの対処方針を要請	
(2) JR奈良駅西まちづくり運営協議会（JR奈良駅西のにぎわい創出） (5⑧⑩)						
	<input type="checkbox"/>	運営協議会の定期開催と実効性ある企画検討協議	①	コロナ禍により書面開催、事業は休止中	偶数月に開催(情報交換など)、協定や事業の見直し 偶数月に開催予定(情報交換など) 期末は3月開催	0
	<input type="checkbox"/>	JR奈良駅西側の立地事業者へ組織拡大への働きかけ	②	JA及びホテル事業者へ打診を見合わせ中	運営協議会で今後のあり方などの討議、JAまほろばキッチン・シルキア奈良・ホテル事業者への意向打診	
	<input type="checkbox"/>	にぎわい市場、ロビ-コナ-ト、大文字・若草山焼き、歴史教室等の実施	③	感染症拡大防止のため中止、見直し示唆	感染症の推移を見極めながら、予防対策を講じつつ、にぎわい創出の事業を下期から徐々に復活する。	
(3) 安全な遊びの空間確保へ街区公園等の整備充実 (7)						
	<input type="checkbox"/>	地区内の街区公園に水道を施設しトイレをつくる	①	グリーンガ-ト・アダプトブ-ログラム等の継続実施	街区公園や市道の除草清掃等の管理受託を市と協議、令和6年度からの受託について受け入れ態勢を整備	10
	<input type="checkbox"/>	西九条佐保線余剰地や空き家跡等視野に小公園の増設	②	個別案件の洗い出しや可能性調査未着手	用地買収の進展を見て利活用関係法令の調査研究 利活用関係法令の調査研究、用地買収の進捗把握	
(4) 佐保川親水公園の利活用、堤防道路の歩車道分離による安全化 (6⑧)						
	<input type="checkbox"/>	親水公園の役割分担（協定締結）と維持管理	①	現地引継ぎ、日常管理の地元体制検討中	日常管理の協定・覚書等締結（役割分担）と維持管理体制の確立、維持管理グループづくりによる実践	40
	<input type="checkbox"/>	親水公園を中心とした空間でのイベントなど利活用	②	利活用策の協議（対；県・市）継続、開設式予定	佐保川クリーンキャンペーンの実践、開設式の実施 県及び市と利活用策の協調、次期花見イベント計画	
	<input type="checkbox"/>	堤防道路の歩車道分離による安全化	③	官民境界確認などの事情で協議停滞	要望事項の再確認と追跡、県・市の対応状況により再度要望書作成し提出、実現化へ	5
(5) 大宮クリーンアップ作戦（清掃活動、ペットマナーの向上運動ほかソフト面）の実施 (7⑩)						
	<input type="checkbox"/>	全員参加型の佐保川・菰川クリーン・アップ行動	①	コロナ禍で見合わせ中	佐保川隣接の自治会を含め、オール大宮で実施 コロナ禍で見合わせ中、令和6年3月にクリーンアップ	20
	<input type="checkbox"/>	地区単位、ブロック単位、自治会単位等によるクリーンアップ活動	②	各層によるクリーンアップ活動一部実施	自治会単位での活動拡大と継続的実施の依頼 自治会単位での活動拡大と継続的実施	0
	<input type="checkbox"/>	犬などの散歩のルールをつくり、知ってもらい、独自のマナーづくり	③	広報紙「きずな」45号で犬散歩マナーの訴求	広報紙、チラシ等によるキャンペーンの継続実施 広報紙、チラシ等によるキャンペーンの実施	5
(6) まちの安全化への取り組み（バリアフリー化、ゾーン30拡大などハード面）強化 (3④⑦)						
	<input type="checkbox"/>	歩道やガードレールの点検、段差の解消、点字ブロックの設置	①	改善箇所のリストアップ未着手、通学路一斉点検実施	調査隊編成と現地調査、通学路一斉点検箇所のフォローアップ実施 県道部分は点字ブロック等更新中	10
	<input type="checkbox"/>	標識や看板の統一と削減、ブロック塀の全面的生垣化	②	標識・看板類の取り組み方検討未着手	調査隊編成と現地調査（上記と同時実施）	
	<input type="checkbox"/>	横断歩道の設置とスクランブル化への働きかけ	③	大宮通り小学校北東交差点スクランブルを要望中	要望事項（大宮通り小学校北東交差点）の追跡、実現性確認	
	<input type="checkbox"/>	セーフティゾーン（30キロ制限の「ゾーン30」）の拡大	④	設置箇所（南部ブロック）確認し、12/1要望書提出	行政主導の保育所対象のキッズゾーン及び追加設置要望箇所の（南部ブロック）追跡による実現化へ努力	
(7) 地域とともにある学校園への参画と協働 (12⑬)						
	<input type="checkbox"/>	地域で決める予算事業、放課後子ども教室事業等への参加	①	コロナ禍で書面方式で学校評価などを実施	学校運営協議会への参画、感染症の推移を見て学校諸行事への参加、「育ち支援部」との協働	0
	<input type="checkbox"/>	大宮地区内の学校・園の「開かれた学び舎」づくりへの関与	②	保育園・幼稚園の民営化円滑移行への対応	保育・幼稚園の認定子ども園化や民営移行の推移把握（子ども安全や育ち支援の取り組み継続）	
(8) 地域活性化への取り組み（基盤組織として自治連合会機能の発揮） (11⑯⑰)						
	<input type="checkbox"/>	大宮地区自治協議会運営への、主導的役割の発揮	①	理事会、事務局でのイニシアティブ向上	理事選出、事務局機能強化、理事会・定時総会対応、自治協議会・安全部との事務手続き面の一体的運営	200
	<input type="checkbox"/>	意志疎通の活発化と情報共有による自治会活動の円滑実施	②	各種会議の開催と研修の実施、ブロック編成確認	総会、自治会長会議、役員会、研修会などによる情報共有、ブロック編成による世話役活動	220
	<input type="checkbox"/>	関係する各種団体への活動支援と協調の継続実施	③	分担金や助成金による金銭支援実施	公民館グループ協・三笠中少年指導・菰川環境美化協議会など関係団体などへの支援と活動の協調	128
	<input type="checkbox"/>	未加入自治会員へのアプローチと情報共有、一体感の醸成	④	広報紙等の配布と掲示板などの点検、加入呼びかけ	配布事業の受託継続、掲示板の点検など広報媒体の配置見直し、広報紙など不断の自治会加入呼びかけ	10
	<input type="checkbox"/>	活動組織（防災防犯活動・高齢者福祉活動）等への支援と取り組み	⑤	自治会レベルでの活動の活発化要請	「安全部会」への支援、「福祉部会」（改選後の民生児童委員との見守り連携）との連動	0

凡例＝短期：1～2年、長期：3年以上

2 安全部会 ～みんなで創る安全安心なまちづくり～				【過年度計画の活動総括】		2023年度の活動計画（取り組み）		予算（千円）	
目標期間	活動計画への展開	計画番号		上期（4～9月）	下期（10～3月）	自治協	全体		
(1) 備災・防災・減災・防犯につながる啓発活動と訓練の実践（①～④⑥⑦）									
○	備災・防災・減災・防犯につながる広報活動	①	広報誌「きずな」への各号に記事の提供で記載を継続	広報誌「きずな」への記事の提供で備災・防災・減災・防犯の啓発活動を継続					
○	地区内危険箇所の点検と整備の呼び掛け、働き掛け	②	大宮小PTAより登下校時の危険箇所の情報提供を受ける 避難ルート認知マップは未着手	見守りに関するPTAからの情報の確認および住民からの危険箇所の情報収集					
○	一時集合(避難)場所を活用した避難訓練	③	10月の防災訓練時は各自治会に一時集合場所での集合を通過	訓練の企画・立案（人と防災未来センター訪問の計画）		訓練・研修・講演の実施			40
○	定期的な研修・講習・訓練の実施	④	9、10、11、2、3月に研修・講演・訓練の実施						190
○	河川・堤防清掃の継続(佐保川・菰川)	⑤	佐保川の清掃はコロナ禍と親水公園工事中の為中止	自治環境部会に協力・4月1日に親水公園の清掃活動と記念式典の計画有り					
○	防災・防犯家族会議の推奨	⑥	奈良県防災士会から講師を迎え9/25日に講演会を実施	③・④に準ずる					20
(2) 指定避難所・自治会避難場所・事業所等の運営体制の整備（①②）									
○	一時集合(避難)場所・避難所の周知、徹底	①	(1) ③に準ずる	各自治会・自治協参加マンション等へ「きずな」・チラシ等で一時集合場所、避難所の周知徹底を行う					
○	地区内全避難所の運営体制・環境整備	②	各避難所を避難所責任者が訪問し市からの災害BOXの所在確認	コンベンションセンターの避難場所マニュアルの完成		避難所マニュアル作成準備（大宮小は除く）			
○	避難所内に生活用水を確保	③	井戸掘削準備金の積み立ては継続中	井戸の積立金の検討					
○	防災倉庫の定期点検・維持管理	④	ヤマハのカセット式インバーター発電機一台購入・棚卸は未着手	3ヵ所の防災倉庫の棚卸実施・期限切れ備品の確認		期限切れ備品の入れ替えおよび不足品の購入			40
(3) メーリングシステムなど災害情報発信の仕組みの充実（①～③⑧）									
○	OMSへの加入者の増員	①	OMSは社協に返還（使用中止）						
○	情報発信と伝達	②	本年度は災害情報の発信は0件。10月防災訓練時の発信実績は1件有り	「おおみや安心システム」が情報発信の基盤になる為、各自治会長、自主防会長に加入を促進					
(4) 避難行動要支援者への支え合い「おおみや安心システム」の稼働（①②④⑧～⑩）									
○	自力避難が困難な避難行動要支援者の避難行動プランを作成	①	④の活動にて情報収集	避難行動プラン作成は行政の方針決定で実施予定・現行は自治会に依存					
○	健康管理、人のつながりを兼ねた避難所確認	②	活動なし	福祉部会に協力(人的支援)					
○	障がい者理解を深める公開講座の開設、認知症サポーター育成	③	11月に福祉部会と共同で認知サポーター養成講座開催						
○	避難行動要支援者の見守り	④	9月・2月に避難行動要支援者へ往復葉書を発送し状況把握を試みた	年1～2回程度の見守り葉書の発送を継続					90
(5) 医療機関とスーパーマーケット等との連携、協定締結（②⑨⑩）									
○	医療機関等との医療援助に関する協定締結	①	未着手	行政と他地区の取り組みの情報収集		収集情報の分析と連携の検討			
○	スーパーマーケット等との物資供給に関する協定締結	②	未着手	情報収集と自治会単位での個別協定等の検討					
(6) 道路拡幅に伴う横断歩道の安全確保、「ゾーン30」の拡大（②⑬）									
○	道路拡幅に伴う横断歩道の安全確保	①	県との協議進展なし	西九条佐保線対策委員会・自治環境部会に協力					
○	「ゾーン30」の拡大	②	12月に三条宮前町・三条添川町への適用申請済み						
(7) 防災士会、地域安全推進委員等の人材の発掘育成（①～④）									
○	防災士の人材発掘と育成	①	受講予定者4名抽選で圏外に、受講者なし	2022年度受講希望者に受講を依頼					60
○	地域安全推進委員の人材発掘と育成	②	地域安全推進委員会代表者会議に対応	地域安全推進委員会代表者会議に協力					
(8) 「おはようみまもり・おかえりみまもり」の重層的見守り（②③⑬⑭）									
○	声かけ、鍵かけ運動(絆)の奨励、「のぼり」の掲出継続	①	「きずな」・チラシで声掛け運動は継続中・「のぼり」の維持管理も継続中	「きずな」、チラシで声掛け運動は推奨・「のぼり」の維持管理					30
○	安全パトロール等の継続	②	自転車パトロール・定点見守り・季節夜間見守りを実施	現行活動の継続予定（高齢者が多く自転車パトロールの見守り回数の検討）					120
(9) 防犯カメラ・防犯灯の充実した街づくり（③）									
○	防犯カメラ・防犯灯の充実	①	南部ブロックに2機設置済み	行政に設置場所の適用条件を確認、(1) ②の情報などを基に行政に設置場所の申請					
(10) 防災防犯協議会事務局の充実（①～④）									
○	事務局員の増員	①	自治協議会理事1名確保	自治協議会（安全部会・自治環境部会）の一体化運営に推進					

凡例＝短期：1～2年、長期：3年以上

590

目標期間		活動計画への展開	計画番号	【過年度計画の活動総括】	2023年度の活動計画（取り組み）		予算（千円）	
短期	長期				上期（4～9月）	下期（10～3月）	自治協	全体
3		福祉部会 ～住み続けたい健康で明るいまちづくり～					【部長；植原・舩香・岡野】	
(1) ふれあいの場づくりと高齢者支え合いへの支援 (7)(8)(9)(10)								
○	○	各団体の個々の高齢者福祉活動を尊重し、お互いに支え合う体制を作る	①	各団体ではコロナへの対応をしながら、高齢者福祉活動を続けた。	コロナへの対応をしながら、各団体で高齢者福祉活動を継続し、お互いに支援し合う体制を作る。	コロナへの対応をしながら、各団体で高齢者福祉活動を継続し、お互いに支援し合う体制を作る。		
○	○	高齢者の地域福祉の拠点づくりをして、各団体のサロンの場を広げる	②	各団体では、健康をテーマだけでなく、様々な取り組みが出来た。拠点の拡大にも取り組んだ。	様々な取り組みを継続する。	様々な取り組みを継続する。		
○	○	高齢者のふれあいの場を提供し、個々の生きがいに繋げる	③	春のお花見ウォーク、秋の健康ウォークは実施出来なかった。	親水公園のオープンイベントに協力する。	秋の軽スポーツ大会を開催する。	40	40
	○	①高齢者生きがいづくり。地域事業を委託し、現金収入を得る	③-①	高齢者主体にしみんだより等配布事業で実施中	高齢者主体にしみんだより等配布事業で実施中	「しみんだより等配布事業」で実施、併せて人材開発と登用		
○		②高齢者農園で健康と生きがいづくりの機会をつくる	③-②	少しずつコミュニケーションが出来つつあるが、地域との交流までは出来なかった。	児童・園児対象の野菜畑見学会を実施し、地域との交流を図り、生きがいづくりに繋げる。	児童・園児対象の野菜畑見学会を実施し、地域との交流を図り、生きがいづくりに繋げる。	10	10
○		③放課後こども教室等に参画する	③-③	幾つかの団体が音読朝ごはんにスタッフとして参加している。	音読朝ごはんに、コロナ後はスタッフの必要人数が増えるのが予想されるので協力していく。	音読朝ごはんに、コロナ後はスタッフの必要人数が増えるのが予想されるので協力していく。		
○	○	(コロナ禍の中) 高齢者同士で支え合う仕組みをつくる	④	コロナ禍の中、励ましのメッセージを発行し、好評を得た。きずなにも記事を載せた。	地域の高齢者の趣味の会等の広報活動をする。	地域の高齢者の趣味の会等の広報活動をする。		
(2) 多世帯が集い、ハンディーを感じさせない居場所づくり (8)(10)								
	○	既存の企業・商店・飲食店との協働による機会・場所づくり	①	子ども食堂（社協）で部分的に実施中	状況調査をしていく。（社協）「おでかけサロン」との連携	状況調査をしていく。（社協）「おでかけサロン」との連携		
	○	空き家の利活用の方法について、行政と連携する	②	未着手	行政の意向確認、法的課題などの勉強	行政の意向確認、法的課題などの勉強		
(3) 地域内医療機関・介護機関・担当行政機関等との連携 (9)(10)								
	○	大宮地区内医療機関・介護機関との連携と協働を図る	①	安全部と共催し、認知症サポーター養成講座を開催した。	集会の場への出前講座などによる招聘、医師会との意思疎通	集会の場への招聘アプローチ、医師会との意思疎通	10	10
	○	①見守り・ふれあい、サロン活動やワークショップ・講座の開催への協力	①-①	未着手		定期的な出前講座等の開催の検討実施		
	○	②地域のイベントでの協力	①-②	未着手				
(4) 地域包括ケアシステム・認知症ケアへの取り組み (9)(10)								
	○	見守り・ふれあい、サロン活動やワークショップ・講座の開催への協力（3）と共通	①	安全部と共催して認知症サポーター養成講座を開催した。	三笠地域包括センターとの連携模索	三笠地域包括センターとの協働		
	○	地域のイベントでの協力（3）と共通	②	未着手				
	○	体験型のワークショップを開催する	③	未着手				
○	○	高齢者のフレイル（虚弱）予防の活動を展開する。	④	障がい者スポーツ「ポッチャ」競技を実施した。	大宮まつりで障がい者スポーツ「ポッチャ」の競技大会を実施する。	包括支援センターと連携しフレイル予防のイベントを開催する。	30	30
	○	フレイルサポーターを養成する。	⑤	未着手				
(5) 大宮版「ぐるっとバス」の運行（通園・通院・買物 e t c） (7)(8)(9)(10)								
	○	循環バス（運輸業者との協働、ならびに医療機関からの資金拠出）	①	未着手	将来構想として保留			
	○	地域行事への送迎の検討	②	未着手	将来構想として保留			
(6) 「おおみや安心システム」による安否確認、双方向通信 (7)(8)(9)(10)								
○	○	「おおみや安心システム」の構築による平常時の見守り	①	9月、2月に避難行動要援護者へ葉書を発送し、状況把握を試みた。	安全部会との協調、毎月の安否確認メールの実施	安全部会との協調、毎月の安否確認メールによる状況把握		
	○	「おおみや安心ネット」構築参画	②	未着手	「おおみや安心システム」の登録者の増員に協力	「おおみや安心システム推進会議」との連携		
凡例＝短期；1～2年、長期；3年以降							90	90

4 育ち支援部会 ～子育てと教育のまちづくり～		【部長；小栗・岡田浩・高橋・中村・矢本】						
目標期間 短期長期	活動計画への展開	計画 番号	【過年度計画の活動総括】		2023年度の活動計画（取り組み）		予算（千円）	
					上期（4～9月）	下期（10～3月）	自治協	全体
(1) おはようみまもり・おかえりみまもり (③⑬)								
○	○	みまもり意識の向上と情報宣伝活動	①	子ども安全の家の旗 安全マップの作成・内容更新（子ども育成）	子ども安全の家の旗 状況確認（子ども育成）	安全マップの内容更新・作成（子ども育成）	10	
○	○	子どもを守る防犯活動の実践	②	小学校：一斉下校時の青バト（年3回）、幼稚園：降園指導 新1年生の下校指導 防犯教室（キッズおおみや）	新1年生の下校指導 幼稚園の降園指導 一斉下校時の青バト	防犯教室の実施（キッズおおみや）	10	
(2) 子育て世代が気軽に集える場所・交流の場としてのイベント実施 (⑬⑭)								
○	○	交流の場としてのフリースペース等の活用と周知	①	未就園児対象「おいでよゆめのくに」（月1回、社協）	「おいでよ ゆめのくに」月2回実施（社協）	「おいでよ ゆめのくに」月2回実施（社協）		240
○	○	交流の場としてのイベント実施	②	保護者参加型ドッジボール教室（年4回、キッズおおみや） ラジオ体操（夏休み8日間、社協・キッズおおみや）	キッズおおみやにて保護者参加型の活動を実施 ラジオ体操（夏休み8日間）	キッズおおみやにて保護者参加型の活動を実施	60	1000 600
(3) 制服・フォーマルウェアレンタル事業・不用品交換事業 (⑭)								
○	○	制服・フォーマルウェア、レンタル事業	①	小学校入学式で昨年度回収分を提供 4・11・12月にリユース品回収、2月に幼稚園・保育園へ提供	リユース品提供	リユース品回収・提供		
○	○	不用品交換事業	②	公民館にてぶつぶつ交換会開催（社協）		ぶつぶつ交換会の実施		
(4) 子ども食堂の展開・学習支援および居場所づくり (⑭⑮)								
○	○	学習支援	①	夏休みの3日間、小学生を対象に「おおみや未来塾」を実施 「おしえてスタディroom」（週1回 中学校3年生対象、社協）	「おおみや未来塾」夏休み、時期を検討し実施 中学校3年生対象「おしえてスタディroom」（週1回 三笠公民館、社協）		20	2060
○	○	子ども食堂	②	「おんどく朝ごはん」（学校のある月曜日、キッズおおみや） 「おもてなし食堂」「大宮レストラン」（主に長期休暇中、社協）	「おんどく朝ごはん」を実施（学校のある月曜日、キッズおおみや） 「おもてなし食堂」（不定期実施、社協）「大宮レストラン」（長期休暇中、社協）			6000
○	○	図書室・公民館などの施設を利用した居場所づくり	③	「おかえりスタディ教室」（週3回 リリースクール・ぶろぼの、社協） 「おしえてスタディroom みんなの居場所」（週2回 三笠公民館、社協）	小学生対象「おかえりスタディ教室」（週3回 リリースクール・ぶろぼの、社協） 小中高対象「おしえてスタディroom みんなの居場所」（週2回 三笠公民館、社協）			
(5) 子どもたちへの社会経験の機会提供 (⑮⑯)								
○	○	キッズニア等の社会体験	①	キッズニア in ハロウィンフェス（10月、キッズおおみや）		キッズニア in ハロウィンフェスにて模擬店運営		
(6) 地域一体型の放課後子ども教室事業を運営 (⑯⑰)								
○	○	学校運営協議会・地域教育協議会、放課後子ども教室、バンビーホーム等の一元化指向	①	現状での実施は厳しく、保留	小学校の学級懇談時の児童預かりを検討			
(7) 教職員の授業・部活サポートニーズ把握と充実実施 (⑰⑱⑲)								
○	○	教職員の授業・部活のサポートニーズ把握と必要な支援態勢をつくる	①	幼稚園：春の園外保育、西方寺お茶会時の安全見守り 小学校：図工・家庭科授業のサポート、遠足等の安全見守り	学校園のサポートニーズを把握し、授業サポートを実施 教職員と地域の交流会の実施を検討		70	25
(8) 幼稚園・小学校の備品施設管理維持ボランティア (⑱⑲)								
○	○	施設管理や備品維持ボランティア	①	幼稚園・小学校の除草作業（9月、10月）	学校園からの要望に応え、環境整備に協力する			
○	○	図書ボランティアの充実	②	学校司書と共に図書ボランティア実施（月2回）	小学校PTAと協力し、図書ボランティアを募る。月2～3回実施			
(9) 小中学校一貫教育への支援 (⑲)								
○	○	学校運営協議会や地域教育協議会への参加と協力	①	コーディネーターとして、各会議・活動に参加	地域コーディネーターの人員を増やし、各会議・活動に参加			
○	○	地域で決める学校予算事業での支援促進	②	コーディネーターが学校園からの依頼に応え、地域・PTAに支援を呼びかけ	学校園との連絡を密にとり、支援ニーズに応える			

凡例＝短期；1～2年、長期；3年以降

170 9,925

5		情報人財部会 ～地域活動への理解協力と新しい担い手の発掘に繋がる情報の発受信と共有、共感喚起～			【部長；吉岡】			
目標期間		活動計画への展開	計画番号	【過年度計画の活動総括】	2023年度の活動計画（取り組み）		予算（千円）	
短期	長期				上期（4～9月）	下期（10～3月）	自治協	全体
1) 広報公聴機能の強化、広報紙「きずな」等の充実・訴求力の向上（啓発記事と事業報道のバランス）（①③⑦⑩⑬）								
○		「編集会議」メンバーの更新と役割分担、タイムリーな発行	①	44～46号・号外の発行、編集会議続行、コンクール優秀賞	47・48号「大宮まつり」事前事後広報、チラシ増頁、広告勧誘	49号、次年度自治活動計の広報等状況により臨時号	220	220
○	○	「しみんだより等配布事業」の継続による紙媒体の全域配布	②	2022年度継続受託、34名体制で推進、後継者バトンタッチ	継続受託、抜け漏れの無い配布体制維持、後継者の人材発掘	抜け漏れの無い配布体制維持、後継者の人材発掘		
○		県や市とタイアップしたタウン誌の発行配布	③	県コンベンションセンターと連携、「まちだより」発行	大宮通り・新ホテル交流拠点事業「タウンマネジメント運営協議会」の開催、コンベンションセンターと連携、「まちだより」発行			
○		広報だけでなく「意見箱」の設置による公聴の実践	④	公民館内・子ども農園フェンスに設置するも活用低調	「意見箱」の存在を広報紙などを通じてPR、公聴機能を高める	「意見箱」の存在をPR、場所変更や増設検討		
2) 掲示板（市・自治会）の整備、自治協広報版の設置と管理（②③⑦）								
○		設置場所の再検討と一体的管理による効果的利活用	①	各自治会からの意見要望等なし、日常管理に不備あり	設置場所は現状維持のまま修理必要箇所は市へ要望、自治会の意見を踏まえ必要により自治協議会で一体的管理			
	○	自治協議会広報版設置の予算確保と管理方法等の検討	②	小学校前の子ども農園フェンスに設置し暫定実施	市広報板は新增設困難のため、自治協議会で設置場所や予算どりを検討、（寄贈による方法も模索する。）			
3) 大宮地区情報システムの確立（非常時は災害情報ツールとして活用）（①②③④⑤）								
○		ホームページの管理、全員参加又は全会員活用を目的	①	事務局担当を決めホームページのコンテンツ更新	ホームページのコンテンツ更新、理事・代議員等の活用	ホームページのコンテンツ更新、未利用者への拡大を図る		
○	○	大宮メーリングシステム（OMS）による情報伝達の充実	②	災害時の避難誘導への備え、定期の安否確認実施中	安全部と協調、災害時要支援者へは引き続き紙ベースによるアプローチ、漏れ落ちる人たちへの対応を継続			
○	○	「おおみや安心システム」活用による安否確認、イベント情報周知	③	契約変更による持続可能に目途、登録募集伸び悩み	登録者増への根気強い呼びかけ、定期配信の実施による返信率向上	登録者増へ訴求、資金確保のため「助け合い活動資金」募集		
○		グループラインによる情報伝達の迅速化・ペーパーレス化	④	分野別のグループライン試行中、情報連絡に活用	グループライン参加者拡大、分野別のタイムリーな情報連絡	分野別のタイムリーな情報連絡、ペーパーレス化への実践		
4) IT・マスコミを活用した「大宮地区自治協議会」の認知度の向上（①～⑦）								
○	○	各部会からの要請を受けて対応する	①	コロナ禍でPRする事業なし	コロナ禍の収束を待ち、徐々にフルバージョンに戻すこととし、行事・催物を広報する機会をつくる			
5) マンション管理組合・事業所への地域参加呼びかけと組織化（②⑩⑬）								
○	○	未加入のマンション管理組合に対する訴求継続	①	マンション管理組合へ加入要請するも実績なし	「きずな」紙面による呼びかけ、管理組合理事長への加入要請文書（8・2月）送致、建設中マンションの事業主等へ要請継続			
○	○	事業所等へのあらゆる機会を捉えたアプローチ	②	事業所関係は9事業体が加入、「新春の集い」案内	自治協議会の認知度向上と事業所への組織拡大を働きかけ検討	自治協議会の認知度向上と事業所への組織拡大を働きかけ		
○	○	加入管理組合・事業所への情報提供と地域活動の連携	③	総会招集と結果報告、「きずな」の配布などに留まる	「きずな」等の配布始め地域情報の提供による共有	不断の地域情報の提供による共有、事業への参加意欲		
6) 地域の役に立ちたいという人のニーズに応える事業や動機付けの実施（⑭⑯⑰）								
○		「地域デビュー講座」の開設など社会参加の機会づくり	①	問題意識あるが、呼びかける事業など具体的進展なし	ニーズや関係事例の調査検討、行政を巻き込んだ対策の検討	ニーズや関係事例の調査検討、具体的な実施計画づくり		
	○	市からの受託事業の拡大による担い手の募集など拡大	②	しみんだより等広報紙配布事業に加え事業模索	市との具体的な協議による実施拡大事業の検討と実施への準備	市との協議による実施拡大事業の検討と受け入れ体制整備		
	○	近くで働きたいという若年層・子育て世代への情報提供	③	問題意識あるが、具体的進展なく模索中	「きずな」の活用や「安心システム」による呼びかけ、事業所との連携、若年層・子育て世代への事業への参加機会創出と呼びかけ			
	○	「Withおおみや」「ジェネレーション」など受け皿の充実	④	年齢別受け皿の検討、メンバー増加への進展なし	ポストコロナを踏まえ、年代別受け皿の設置や参加しやすい事業の模索と具体的な実施方法の検討			
	○	地域活動参加インセンティブの模索と制度設定	⑤	福祉活動ポイントのみの活用で拡大せず	有償ボランティア制の導入及び資金面の検討、行政との協議	有償ボランティア制の導入及び資金面の検討、行政との協議		

凡例＝短期：1～2年、長期：3年以上

作成；吉岡 2023.3.12. 220 220

8		人権教育推進委員会 ～共生社会に呼応した持続発展するまちづくり～			【部長；嘉壽】			
目標期間		活動計画への展開	計画番号	【過年度計画の活動総括】	2023年度の活動計画（取り組み）		予算（千円）	
短期	長期				上期（4～9月）	下期（10～3月）	自治協	全体
1) 関係機関と連携した権利擁護の諸施策の推進（①）								
○	○	権利擁護の諸施策の推進、関係する部会との連携	①	「ケアラー」人権尊重される社会DVD研修実施	諸制度・諸施策の調査と理解の増進	諸制度・諸施策の調査と理解の増進	0	20
○	○	人権問題変化に伴う研修啓蒙活動の実施	②	人権ゆかりの地「ぶらり散歩」計画はコロナで中止	人権ゆかりの地「ぶらり散歩」計画の実施	上記、行政との連携によりDVDによる研修会の実施		

凡例＝短期：1～2年、長期：3年以上以降

2023.2.2.

6 企画財務部会 ～分野別部会を支える企画・全体運営・財務・事務機能などの整備充実～

【部長；潮崎】

目標期間 短期 長期	活動計画への展開	計画 番号	【過年度計画の活動総括】	2023年度の活動計画（取り組み）		予算（千円）		
				上期（4～9月）	下期（10～3月）	自治協	全体	
(1) 組織と活動のあり方の考察提言と総ての活動のPDCA確認（費用対効果の視点）								
○	○		協議会組織と活動のあり方の不断の考察と提言	①	部会活動のあり方と一体的運営の検討	自治協・自治連・防災防犯協の一体的運営の検討。部会活動と団体活動の整合促進		
○			数値化されたメジャーメント（評価基準）の設定	②	「活動評価シート」の提出は、一部の提出にとどまる	各部会活動ごとの「活動評価シート」作成提出を推奨促進。経費と効果の検証評価		
	○		PDCAサイクルの実践と定着（費用対効果の視点）	③	活動停滞により定着せず		30	30
	○		NPO法人設立を目指した活動、作業の実行	④	（未着手）	（NPO法人設立の可否を長期的に検討）		
(2) 活動計画策定作業チーム編成と策定作業の実施、合意形成（第2次⇒第3次自治活動計画の企画立案から合意形成など策定業務全般）								
○			第2次活動計画の立案・内容調査など策定業務全般	①	コロナ禍により計画についての実施が伴わなかった	2022年度各部会活動計画持ち越し案件ならびに2023年度各部会活動計画実施状況の確認		
○			WG・PTなどの計画策定作業チームの発足	②	正副会長会議の継続実施。「大宮まつり実行委員会」発足	「大宮まつり」実施。 広報紙配布事業、安心システム事業の継続実施		
(3) 業務受託（行政業務の有償肩代わり）、事業所等との協賛・連携協働								
○			受託事業の円滑運営実施	①	広報紙配布事業の円滑実施	広報紙配布事業の円滑実施と人財確保	2,200	2,200
○	○		行政機関への働きかけと折衝による実現	②	市自治連合会レベルでの行政との協議	市自治連合会レベルでの行政との協議継続		
○	○		事業所・商店等への働きかけ（協賛事業）	③	「きずな」等への有料広告掲載募集	事業所・商店等への広告掲載の働きかけ継続		
(4) 各種助成金への積極応募及び基金設立など広く薄く集める手法の模索と試行								
○			各種助成金情報のキャッチと積極応募	①	情報収集が不足	事務局にて情報源を確保し、各部会に情報を伝達		
	○		基金づくりの検討と創設（広く薄く集める等）	②	「大宮地区助け合い活動資金募金」立ち上げ	「大宮地区助け合い活動資金募金」の継続。資金確保の方法・手段の研究検討	30	30
(5) 予算確保と各活動体への活動資金の配分								
○	○		自治協議会収入の安定的確保	①	(4)②、ならびに方法紙配布事業による市支援金の増額	広報紙配布事業および(4)②による増加。集合住宅管理組合・事業所等への加入働きかけを継続。	30	30
○	○		限られた資金の効率的支出執行	②	各活動体ヒアリングによる適正な予算配分	評価シートによる予算執行検証		
(6) 事務機器（もの）の整備と事務局機能（人）の充実								
○			事務拠点の確保と通信環境等の整備	①	事務拠点確保継続	事務拠点確保継続	1,354	1,354
○			事務用機器類の充実による事務効率化	②	消耗品を除いて事務機器等は購入なし	事務機器等の購入は事務局にて吟味		
○	○		各活動のIT化推進基盤づくりでペーパーレス化	③	「おおみや安心システム」契約切り替え、新ホームページを立ち上げ	「おおみや安心システム」維持継続。 新メーリングシステムの検討・立ち上げ		
○			事務局員の採用などマンパワー増	④	人件費の確保による要員確保	人件費の確保による要員確保継続。事務局員役割分担による処理能力向上		
凡例＝短期：1～2年、長期：3年以降							3,644	3,644

7 おおみや安心システム推進会議 ～"孤立ゼロ"をめざし、支え合いの思いをカタチに～

【部長；潮崎】

目標期間 短期 長期	活動計画への展開	計画 番号	【過年度計画の活動総括】	2023年度の活動計画（取り組み）		予算（千円）		
				上期（4～9月）	下期（10～3月）	自治協	全体	
○			「おおみや安心システム」の構築	①	セコムとの契約を更改し、ランニングコストを削減	現行システムの維持継続	320	320
○			「おおみや安心システム」の運営推進	②		登録・説明会開催、「きずな」・チラシによるPR		
○	○		「おおみや安心システム」の発展的運営	③		各部会に登録勧誘を要請	60	60
凡例＝短期：1～2年、長期：3年以降							380	380

2023年度収支予算 (案)

2023年4月1日～2024年3月31日

<収入の部>

単位：円

項 目	前年度実績	予算額	摘 要
前年度繰越金	34,871	502,326	
協賛金	335,750	178,750	自治連合会および防災防犯協議会分は奈良市一括交付金に含む
助成金	650,000	1,525,450	奈良市一括交付金。ただし、自治会加入および同未加入戸数未確定につき昨年交付金を計上
	0	0	社協より・ふれあい給食200食相当分
	383,500	350,000	地区助け合い活動資金募金
事業収益金	0	0	大宮まつり収益分配金予定
広報紙配布事業	2,823,624	2,880,000	報償費他
広告収入	10,000	20,000	きずな（絆）広告
雑収入	33,800	0	事業収益他 前年度は、広報配布収益金を含む
借入金	200,000	0	4～6月運転資金を借入
寄付金	200,000	0	
預り金・利息	5	5	
収入合計	4,671,550	5,456,531	

(6)2023年度予算案

<支出の部>

単位：円

項目	前年度実績	予算額	摘要
1. 自治環境部会	0	0	事務経費等は下記事務費に含む
2. 安全部会	0	590,000	一括交付金より安全部会（防災防犯協議会）に支出 事務経費等は下記事務費に含む
3. 福祉部会	19,719	90,000	高齢者福祉事業他
4. 育ち支援部会	127,000	170,000	登下校見守り事業・リユース事業・学校園サ ポート・新大宮会／学校応援事業
5. 情報人財部会	198,675	220,000	きずな発行・掲示板管理・未加入集合住宅勧 誘・人財発掘
6. 企画財務部	2,124,591	2,200,000	広報紙配布事業・PDCA確認・資金源模索
7. おおみや安全システム 推進会議	429,369	380,000	システム料金他 地区助け合い活動資金募金より支出
8. 人権教育推進協議会	0	0	奈良市交付金でまかなう
民生委員等推薦委員会	0	0	
防災井戸掘削積立金	50,000	50,000	
大宮まつり実行委員会	0	0	（別予算別会計）
運営・事務局費	1,217,870	1,371,093	自治連合会および安全部会（防災防犯協議会） の事務費等を含む
内訳 事務所費	0	0	事務所借用光熱費 減免
事務費	202,395	241,643	スマホ、WiFi、光回線、サーバー使用料、ドメイン管理料
	125,234	315,450	事務用消耗品費 コピー用紙、プリンターインク他
会議費	7,001	23,000	
負担金	2,000	4,000	三笠公民館グループ協議会他
会議資料作成他	0	0	事務用消耗品費に含む
講師謝礼	10,000	10,000	
交際・慶弔費	0	5,000	関係機関との連携費用
軽四維持費	144,440	222,000	車検・税・任意保険料・燃料費他
新春の集い開催事業補填	0	0	
借入金等返済	200,000	0	
事務局員経費	526,800	550,000	
1～12+運営・事務局費 計	4,167,224	5,071,093	
予備費	0	100,000	
支出合計	4,167,224	5,171,093	

<差引>

次期繰越金	504,326	285,438	
--------------	----------------	----------------	--

会則改正（案）

協賛金に関する細則改正

【改正の理由】

大規模事業所が大宮地区に存在するようになることが見込まれるので、その規模に応じた協賛金のランクを新たに設けることとする。

会則 協賛金細則

改正前	改正案
細則第4条 (2) 自治会未加入の事業所、商店等 入会金 1,000円 協賛金 平均従業員数10人未満 年額 5,000円 平均従業員数20人未満 年額10,000円 平均従業員数20人以上 年額15,000円	細則第4条 (2) 自治会未加入の事業所、商店等 入会金 1,000円 協賛金 平均従業員数10人未満 年額 5,000円 平均従業員数20人未満 年額10,000円 (改正) 平均従業員数 50人未満 年額15,000円 平均従業員数50人以上 年額20,000円
付則 1. この細則は、令和2年6月10日より施行する。	付則 1. この細則は、令和2年6月10日より施行する。 2. この細則は、令和5年5月27日より施行する。 3. 第4条(2)は、令和5年5月27日以降の加入に適用する。

大宮地区自治協議会 理事名簿

	氏名	所属団体	部会等
1		自治連合会	自治環境・情報人材・安心システム
2		自治連合会	人権教育推進
3		自治連合会	企画財務・安心システム
4		自治連合会	自治環境
5		自治連合会	自治環境・安全
6		自治連合会	自治環境
7		自治連合会	自治環境
8		民生委員児童委員協議会	福祉
9		民生委員児童委員協議会	福祉
10		民生委員児童委員協議会	福祉
11		民生委員児童委員協議会	福祉
12		万年青年クラブ連合会	福祉
13		万年青年クラブ連合会	福祉
14		婦人会	福祉
15		婦人会	福祉
16		婦人会	福祉
17		子ども育成連絡協議会	育ち支援
18		大宮小学校PTA	育ち支援
19		大宮小学校PTA	育ち支援
20		キッズおおみや	育ち支援・安心システム
21		安全部会	安全
22		安全部会	安全
23		安全部会	自治環境・安全
24		社会福祉協議会	育ち支援・福祉・情報人財
25		社会福祉協議会	福祉・安心システム
26		大宮小学校校長	育ち支援

大宮地区自治協議会 代議員名簿

NO.1

氏名	所属団体
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会
	自治連合会

氏名	所属団体
	自治連合会
	自治連合会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	民生児童委員協議会
	万年青年クラブ連合会
	万年青年クラブ連合会
	万年青年クラブ連合会
	万年青年クラブ連合会
	万年青年クラブ連合会
	万年青年クラブ連合会
	万年青年クラブ連合会
	万年青年クラブ連合会
	大宮婦人会
	大宮婦人会
	大宮婦人会
	大宮婦人会
	大宮婦人会

おおみや安心システムとは？

大宮地区では、大宮の三つのビジョンの一つ「みんなで創る安全安心なまち」実現へコロナにも負けないICT（情報通信技術）を活用した安心システムを考え、これまで、広報紙「きずな」やチラシでの広報、説明会・登録会を開催してきました。

この呼びかけで600名を超える方々に登録していただき運用を始めていますが、さらに一定程度の規模が必要のため、**登録者の募集を続けています。**

システムを活用していただくにはスマートフォンやガラケーの携帯電話が必要です。

なにが出来るのですか

【必須】

- ①災害時の
連絡と
安全な避難

【任意】

- ②平常時の
安否確認

【任意】

- ③イベントの案内や参加の申込み

*【任意】は、登録時に意思表示する



どんなことをするの(必須)

①災害時の安全な避難

『避難所を開設しました』のメール

メールやアプリから自分の意志選択

【例】

- ①自宅で待機する

- ②自分で歩いて避難所に行く

- ③タクシーを呼んで避難する

- ④しばらく様子を見る

避難所へ ←



このシステムは、三つの役割があります。

まず、①**震度5強以上の地震が起きたときの安否確認メール、また台風や豪雨が予想されるとき『避難所を開設しました』のメール**登録者のスマホなどに送信します。(左図)

そして登録者は、配信されたメール又はアプリから、ご自分の意志(左図の例)を簡単な操作で選択し返信していただきます。

このように、台風や豪雨が来る前に出来るだけ早く避難所を開設して、住民の皆様には**安全なうちに避難**していただくことを第一義とし、このシステムをつくっています。

②次に、登録者の任意になりますが、**月1回程度の定期的安否確認**で、希望者に対して毎月1日に配信運用をしています。

ところが、返信されない登録者が毎回半数以上おられますので、手数ですが、**送り返して**いただくようお願いいたします。

③さらに、これも登録者の任意になりますが、大宮地区の**イベントの案内や参加者申込み**もできるようにしていきます。イベントなどの運営をスムーズに、ペーパーレスを目指します。

このシステムは避難行動のために活用することから始めましたが、大宮地区で安心して暮らすためのデジタル時代に相応しい方法として、今後へ、いろんな活用の仕方があります。

どんなことをするの(任意)

②平常時の安否確認(毎月一定時)



③イベントの案内・参加申込み



このシステムの特徴

①豊富な人脈とノウハウ・・・大宮地区自治協議会を構成する自治連合会・民生児童委員協議会・社会福祉協議会・防災防犯協議会など、ほぼすべての団体がタッグを組んで進めています。

②安心安全の無料サービス・・・情報は専門会社が責任をもって保持し、フルタイム体制で安全安心をサポート。平時の安否確認や災害時の安全な避難などを無料サービスで提供いたします。

③誰かとおつながる安心感・・・「避難所を開設しました」のメール、希望者へ定期的「お元気ですか」やイベント情報が配信されます。誰かとおつながっている安心感は、何物にも代えがたいものです。

「おおみや安心システム」の推進について (2023.5)

1. 「おおみや安心システム」の立ち上げ

- ①仕組み；SECOMの安否確認サービスを地域用に活用
- ②推進体制；大宮地区自治協議会内に「おおみや安心システム推進会議」を設置
- ③活動資金；ニッセイの助成金を活用し、立ち上げと初期段階の運営費用を賄う。
- ④啓蒙活動；パンフレット・チラシ類の配布、のぼり掲示、各種登録会・相談会、広報紙「きすな(絆)」の発行と全世帯配布などを実施
- ⑤登録募集；R2から募集開始、当面目標1,000名。登録者に費用負担はかけない。

2. 「おおみや安心システム」の運用状況

- ①登録者(5/1)；636名(理事=24 未4、代議員=71 未56、その他=541)
- ②定期配信(4/1送信)；全員533名 応答あり216名 なし317名(40.5%)
- ③アプリケーション利用者(5/1)；82名
- ④問題点；スマホの情報機能を使えない人が多い。定期配信の返信は半数未達である。

3. 避難行動要支援者への対応状況

- ①「おおみや安心システム」で支援したいとスタートし、アンケートや登録会などを実施し取り組んだが、令和3年度対象者259名の内登録者は40名。情報格差の存在あり
- ②令和4年度対象者281名(実質261名)に対し、往復ハガキによる状況把握を実施し(8月発送)返信57名。続いて令和5年2月250名に対し2回目発送、返信51名
- ③今後とも、根気強く対象者のフォローアップを行うが、アナログ方式も不可欠である。

4. システム運用経費

- ①契約更新；助成金によるシステム契約が昨年9月末で期限を迎えたので、10/中旬に名義を「大宮地区社会福祉協議会」から「大宮地区自治協議会」に変更した。(覚書)
- ②運用経費；かねてより安価な商品の模索を続ける中、SECOMから「現状機能を維持しつつ、より安価な新システムのメニュー」の提案があり、手続きを進めることとした。
- ③新システム；昨年秋に新システムへの切り替え費用が一時的に発生したが、令和5年度以降の運用経費が大幅に縮減できることとなった。
- ④年間削減費用；(登録者700名として試算、単位；円)

$$\boxed{\text{前契約}}580,800 - \boxed{\text{令和5年度以降}}316,800 = \boxed{\text{削減額}}264,000$$

(*登録者1,000名の場合； $20 \times 12 \times 300 = 72,000$ 増)

5. たすけあい活動資金の募集

このシステムを安定的に維持運用するためには資金の確保が必要である。

このため、昨年末に「大宮地区たすけあい活動資金」の募金をお願いしたところ、地区の37自治会、4団体、55名の個人の方々から合計383,500円の寄付をいただいた。

制度を持続発展させていく目途が立ち、支援の手を差し伸べていただいた方々に厚く御礼申し上げます。

以上

地域とともにある学校づくり

少子高齢化と核家族化、女性の社会進出など、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。このような中、子どもたちの学びと育ちを確かなものにするために、地域全体で子どもたちを守り育てる取り組みを進めています。

□奈良市における地域教育推進事業

学校が週休二日制となって以降、小学校で「子どもの居場所づくり事業」として土曜日の居場所づくり事業が始まり、その後、土曜日だけでなく全日を対象とした「放課後子ども教室推進事業」に順次一体化し今日まで続いています。

一方、国（文部科学省）の学校を支援する地域連携事業として、平成20年度に中学校区を単位に「学校支援地域本部事業」が実施され、その後、奈良市では平成22年度から「地域で決める学校予算事業」に統合され推進されています。

このように、奈良市で進められている地域教育推進事業は「放課後子ども教室推進事業」と「地域で決める学校予算事業」の二本立てになっています。

□小中一貫教育とコミュニティ・スクール

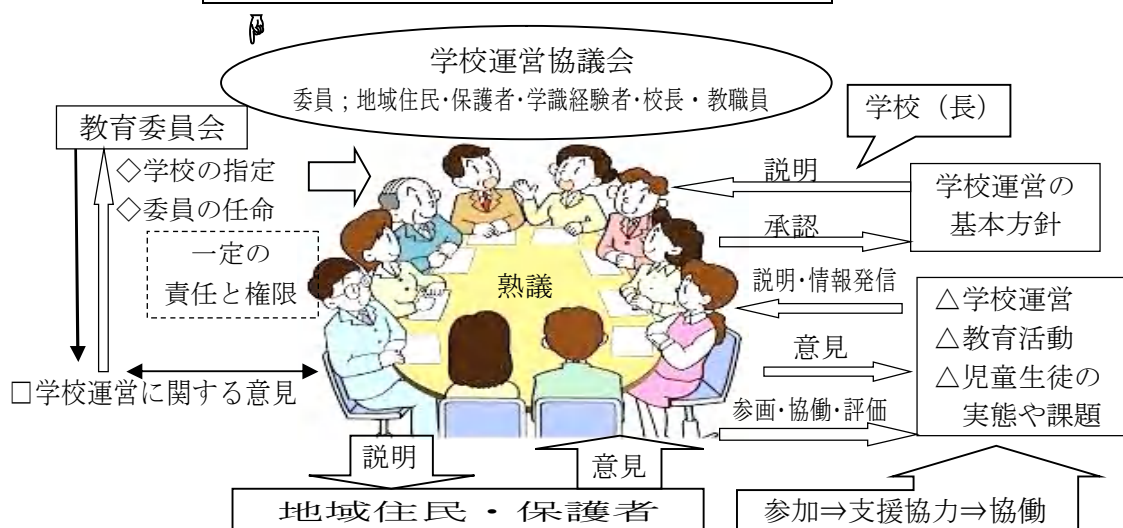
平成27年度から奈良市のすべての小・中学校で小中一貫教育が展開されました。

なぜ小中一貫教育なのか、それは——◇いじめや不登校が中学1年生で増加する傾向がある◇子どもたちの身体や精神的な成長が早くなっている◇小学校へ英語教育の導入など、学習内容が高度化している——などの課題があります。

そのため、中学1年で出会う学習や生活の変化への不適応、いわゆる中1ギャップの解消と学力向上をめざし、子どもたちの発達段階に見合っ小・中学校間を滑らかに接続し、義務教育9年間の一貫した教育を実施しようというわけです。

また、近年、家庭の変化、子どもの早熟化など子どもたちを取り巻く環境も変わり行動様式も多様化してきました。このため子どもたちを育む土壌を醸成し、地域総ぐるみでよりよい教育の実現に向けて、地域の方々や保護者が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」制度が導入され、現在、三笠中学校と大宮始め4小学校が連携し運営されています。

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のイメージ



コミュニティ・スクールは「地域とともにある学校づくり」のための有効なツールといわれ、「学校運営協議会」を設置している学校を指します。この制度を導入することにより、学校のことは学校自身が地域住民や保護者の意向を踏まえて決定することを原則に、地域の力を学校運営に生かし質の高い学校教育の実現を目指します。

大宮自治活動計画（おおみやaiプラン）

基本理念

ふれあい ささえあい ありがとうのまち

『ふれあい』 = 人と人とのふれあいのみならず、行政やNPO、企業などとの連携協働を、
『ささえあい』 = 隣近所を始めとする大宮地区内のささえあい、行政などとのささえあい、
『ありがとう』 = ふれあい・ささえあうすべての人・組織やものにお互いに感謝することです。

大宮のビジョン

住民アンケートから集約

ビジョン実現のための目標

ゴールめざし、大宮自治活動計画へ展開するターゲット

みんなで創る
安全安心なまち

- ①地震・風水害などに柔軟で強靱なまちづくり
- ②すべての人を対象とする防災の体制づくり
- ③防犯に強く全世代に安心なまちづくり
- ④明日の地域防災防犯を担う人づくり

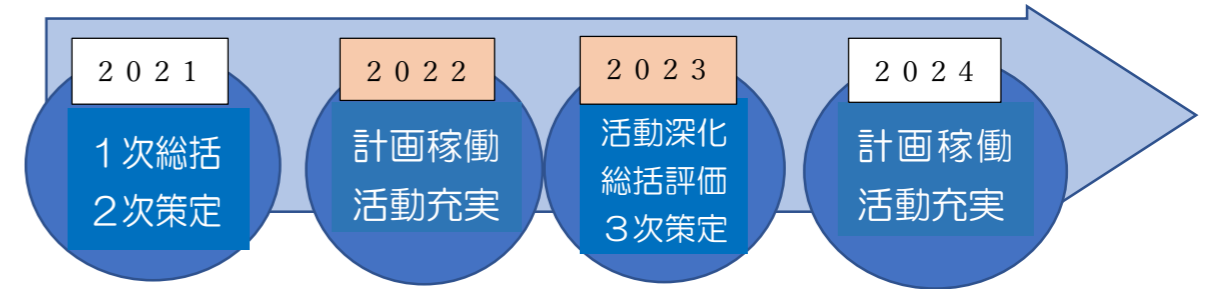
住み続けたい
健康で明るいまち

- ⑤今ある交通や公共施設等の資源を生かしたまちづくり
- ⑥佐保川親水公園を拠点とした安心して憩える空間づくり
- ⑦環境整備され、にぎわいや活気のあるまちづくり
- ⑧多世代が集い、ハンディーを感じさせない居場所づくり
- ⑨医療・介護などのサービスが充実したまちづくり
- ⑩社会福祉法人/NPO・企業等との協働によるまちづくり
- ⑪共生社会に呼応し、多様性を認め合う心豊かなまちづくり

子育てと
教育のまち

- ⑫コミュニティースクールの実をあげる地域と人づくり
- ⑬通わせたい学校・園づくりを支援する体制づくり
- ⑭やさしく楽しく安心して子育てができるまちづくり
- ⑮知育・徳育に秀でた若者の育成がなされる環境づくり
- ⑯地域コミュニティの維持発展を支える人づくり
- ⑰自ら生涯現役を目指せる舞台のあるまちづくり

第2次大宮自治活動計画（2年計画としました）



自治活動計画への展開（事例）

分野別の「部会」へ編成

- a. 備災・防災・減災につながる啓発活動と訓練の実践
- b. 指定避難所・自治会避難場所・事業所等の運営体制の整備
- c. メーリングシステムなど災害情報発信の仕組みの充実
- d. 避難行動要支援者への支え合い「おおみや安心システム」の稼働
- e. 道路拡幅に伴う横断の安全確保、「ゾーン30」の拡大
- f. 防災士会、地域安全推進委員等の人材の発掘育成

- g. 大宮版「ぐるっとパス」の運行（通園・通院・買物 etc）
- h. 親水公園の利活用、堤防道路の安全化など施策の推進
- i. 大宮クリーンアップ作戦（自治会から全域視野に拡大）
- j. コロナ禍を超え、新常态に適応した「にぎわい」の創出
- k. 出会い、ふれあいの場づくりと高齢者支え合いへの支援
- l. 子育て世代等若年層へのアプローチによる集団づくり
- m. 「おおみや安心システム」による安否確認、双方向通信
- n. 地区内医療機関・介護機関・担当行政機関等との連携
- o. 地域包括ケアシステム・認知症ケアへの取り組み
- p. 分野別課題解決組織（部会）への参画呼びかけと協働
- q. 関係機関と連携した人権尊重による共生諸施策の推進

- r. 運営協、教育協、放課後教室、パル・ホームとの一元化指向
- s. 地域一体型放課後子ども居場所づくり、学び舎「DICE」
- t. 幼保小の施設維持管理業務の受託と教職員の業務サポート
- u. 「おはようみまもり、おかえりみまもり」の重層的見守り
- v. 子育て世代同士が集える場所や機会づくりと動機付け
- w. 子ども食堂、塾、遊び空間開設等による居場所づくり
- x. 子どもたちへの社会経験の機会提供による生きる力養成
- y. 地域デビュー講座の開設など社会参加への機会づくり

活動計画を
分野別の
部会へ編成



【分野別部会】

- 1 自治環境
- 2 安全
- 3 福祉
- 4 育ち支援
- 5 情報人財
- 6 企画財務
- 7 安心いふみ推進会議
- 8 人権教育推進委員会



PLAN
DO
CHECK
ACTION

進捗管理し
評価を実践！

ビジョンの実現へ、活動計画を遂行するための組織・企画・財務・人財・広報などの整備

活動分野別の部会制と支えるスタッフ部局の設置、事務局の充実

2023.5.9.

